

国語科学習指導案		3年1組(男子20名 女子16名 計36名)	指導者	上田 智代子
単元名	理解力(判断して説明する) 「俳句の世界」 (本時5/6)			
単元の目標 ・語句の意味や表現の効果を考えながら、俳句に込められた情景や心情を読み味わう。(読むこと ア)				
指導計画 (全6時間) ・第1次 俳句の形式や用語を理解する。……………1時間 ・第2次 自分の選んだ俳句の鑑賞文を書き、伝え合う。……4時間(本時4/4) ・第3次 俳句を創作する。……………1時間				
本時のねらい ・鑑賞文を伝え合うことを通して、表現の特徴やよさ、言葉の意味の深さを評価し、作品の理解を深めることができる。				
配時	○学習活動 <学習形態>	●学習の成果	・教師の手だて ※評価【 】	
3	1 本時の課題を確認する。《全体》		・本時取り上げる俳句と、鑑賞文の発表会の進め方を確認する。	
「こだわりの表現とその効果」について考え、俳句の世界を広げよう				
32	2 課題を追究する。 ○本時取り上げる俳句を音読する。《全体》 ○俳句の鑑賞文を発表し、自分が考える「こだわりの表現とその効果」を中心に意見交換を行う。《全体》 (発表予定の俳句) 餅して山ほととぎすほしいまま 杉田久女 ・「餅して」という表現に、山の静かさやほととぎすの元気な様子が想像される。 ・「ほしいまま」という表現から、ほととぎすが山を自分の自由にしていような力強さを感じる。 バスを待ち大路の春をうたがはず 石田波郷 ・「バスを待ち」という表現が、1日のスタートを感じさせ、春の景色をより明るいものにしていっている。 ・「春をうたがはず」と強く言い切る表現に、春を迎えた喜びを実感する作者の姿が目につく。 万緑の中や吾子の歯生え初むる 中村草田男 ・「万緑」と「歯」の色の対比がすばらしい。生命力に満ちあふれた感じが際立つ。 ・「万緑の中や」の切れ字が印象的で、緑がぱっと周り中に広がる感じがする。		・意味の切れ目に注意しながら音読するよう促す。 ・多様なとらえ方が分かるよう同じ俳句を選んだ数名の生徒に、順に鑑賞文を発表させる。 ・鑑賞文を発表後、発表者がそれぞれ司会者となり、意見交換を進めるよう指示する。 ・自分が気付かなかったこと、同じだと思ったことについて感想や意見を述べ合うことで、全体の読みが深まるようにする。 ・表現の工夫やその効果に焦点をあてた伝え合いになるよう、適宜助言する。 ・聞き取ったことをノートに記入し、評価しやすいように、発表内容を板書していく。共通点や相違点が分かりやすいように整理して板書する。	
10	3 学習のまとめをする。《個人→全体》 ●本時で取り上げた俳句の中で、自分が考える「本日の『こだわりの表現とその効果』ベスト1」とそう考える理由をノートに記入し、発表する。 ・「万緑」と「歯」の色の対比。きれいなだけでなく、子を見守る親の喜びや愛が伝わってくると分かったから。 ・「春が来た」ではなく「春を疑わず」という表現にしたところ。春の楽しい感じだけではなく、作者の前向きな気持ちが伝わってくると感じたから。		・なかなか書けない生徒には、発表を聞いて共感した意見をメモし、自分が感じたことを書くよう促す。 ※友達の見解を参考に、俳句の表現の特徴やよさについて、自分の考えを書くことができる。【ノート】 ・机間指導で記述内容を確認し、指名に役立てる。	
5	4 次時の確認をする。《全体》 ○次時に行う俳句の創作について話を聞く。		・自分のイメージと言葉にこだわりながら秋の俳句を創作することを伝える。	
【視点】 ・「こだわりの表現」に着目して鑑賞文を伝え合ったことは、俳句に込められた情景や心情について理解を深める上で有効であったか。				